

# 雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和5年11月10日発行

学校運営協議会委員研修 ～小中一貫校大槌学園～

## 大槌町のコミュニティ・スクールに学ぶ

10月25日(水)、雫石町内小中学校の学校運営協議会委員等17名はコミュニティ・スクール先進校である大槌学園に視察研修に行ってきました。

大槌町は東日本大震災の甚大な被害を受け、未来を見据えたまちづくりに取り組んでいます。国の復興支援の力を借りながら、大槌学園と吉里吉里学園の小中一貫校を2校開校し、地域ぐるみで子どもの教育に取り組んでいます。今回視察した大槌学園内には、職員室に声をかけなくても町の人が集える井戸端会議室があります。コーディネーターが常駐し、安全面に配慮しつつ学校と地域がお互いにプラスになる活動を展開しています。また1年生から9年生まで地域を学ぶ「ふるさと科」を学習教科に組み込んでいるのが大きな特徴です。

地域の方が直接出入りでき、お茶を飲みながら話をしたり、学校の先生との打ち合わせに利用したりしています



井戸端会議室の説明をする松橋教育長

### 特色1 大槌学園 井戸端会議室



CSコーディネーターとして大切にしていることは、「地域の皆さんと子供たち・先生をつなぐ橋渡し役」になることです！

CSコーディネーターの活動拠点は、大槌学園の校舎の1階にある「井戸端会議室」です。井戸端会議室は、平成28年度に大槌学園の校舎が建設された際に、「地域学校協働本部」として設置されました。地域の方々と学校職員が集い、主にふるさと科の授業づくりに係る打ち合わせが行われています。



※資料大槌町教育委員会発行「大槌の教育」より引用

### 特色2 ふるさと科 実践事例



多くの町民と児童生徒が協働しています



# 「私たちが考えたイーハトーブ！ 人が集まり、安全な岩手山となるためには」

10月19日、野菊ホールで「2023 火山砂防フォーラム」が行われ、西山小学校6年生20名は、一年をかけ岩手山の火山活動や、岩手山のもたらす恵みについて調べたことを発表しました。発表は栗石町長からのミッションで、現地・地域の調査を行い「町の魅力」を導き出し、改めて地域が好きになったという内容でした。発表に至るまでの事前学習には、学校運営協議会委員も参加し、火山の仕組みや、災害時の避難について児童と一緒に学びました。

西山小学校学校運営協議会委員の櫻田久耕さんは「私たちも事前学習に参加し、岩手山の恵みや、防災について児童と一緒に考え、子どもたちの感性での発言内容に感心させられました。学習の成果が『防災ブック、いいところマップ』としてまとめられ、その内容と児童の堂々とした発表に感服しました」と感想を述べました。



500名の参加者を前に発表する児童



恵みチームの発表



防災チームの発表

## 栗石小学校 4 年生 総合的な学習 ～栗石の昔・今・未来～

# みんなで「お宝」を探し、地域の魅力を知ろう！

10月12日(木)、13日(金)、栗石小学校4年生44名は総合的な学習で地域の「お宝」を探しにでかけました。保護者や役場職員等、延べ30名が見守りとして児童のグループに2名ずつ入り、12日は街中コース、13日は農園コースにあるお宝を探しながら歩きました。

普段よく歩いている場所でも、これは何だろう？と思うものや、見たことないものはあるもので、児童はお宝を見つけては写真を撮り、見つけた地点を地図に記して歩きました。自宅の庭に山で採ってきた香茸を干している方や、畑でニンニクを植えている方にインタビューしながらこの学習の最後にまとめるお宝マップの情報収集を行いました。児童の屈託のない様子に、一緒に歩いた大人たちも童心に帰ったようでした。



栗石駅にオープンしたコーヒーショップ  
「nana bansen」 この香りもお宝だな！

ニンニクを植えているんだよ



何を植えているんですか？

栗石町の未来は明るい☆



役場で佐藤教育長にインタビュー、栗石の子どもはどうですか？